

# 広報たかなべ

2014. 7. 18 NO. 389

高鍋町美術館開館15周年記念 特別展



緑の風のなかの少女

## ピエゾグラフによる いわさきちひろ展

2014年8月2日(土)▶8月31日(日)

### 【目次】

- ・防災特集 災害から身を守るための防災対策
- ・教育長就任・退任のごあいさつ
- ・乗って残そう！公共交通
- ・第61回 高鍋町消防操法大会
- ・平成26年度 高鍋町新規採用職員を紹介します！
- ・キラリ★輝く 二人が全国の舞台へ
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物

- 講演会(入場無料・整理券が必要)  
日時:8月2日(土)午前10時30分から  
会場:高鍋町美術館多目的ホール  
講師:竹迫祐子氏(安曇野ちひろ美術館副館長)  
演題:「いわさきちひろの願ったこと」
- ギャラリートーク(観覧券が必要)  
日時:8月2日(土)午後1時から  
会場:高鍋町美術館展示室  
講師:宍倉恵美子氏(安曇野ちひろ美術館学芸員)

●開館時間:午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで) ●休館日:毎週月曜日  
●観覧料:一般 600円(500円) 小中高生・高齢者・障がい者 300円(200円)  
※( )内は団体(20名以上)および前売り料金。 ※高齢者料金は70歳以上、障がい者料金は障害者手帳所持者とその介護者1名まで。小学生未満は無料。



県道木城・高鍋線【川田地区】



十日町地区

## 防災 災害から身を守るための防災対策

特集

6月4日、県北を中心に突然襲った集中豪雨。この大雨により高鍋町では一部の地域で床上・床下浸水、土砂崩れなどの災害が発生しました。このような予測できない災害から身を守るために、私たちは日ごろからどのような防災対策をすればよいのでしょうか。



市ノ山・中尾線【市の山地区】



県道木城・高鍋線【老瀬地区】

九州南部の梅雨入りが発表された直後に発生した大雨の影響で、高鍋町では床上浸水六棟、床下浸水五十一棟、また土砂崩れや農作物の被害が発生しました。また、大雨による土砂災害の危険性が高まったとして、一部の地域では避難勧告が発令されました。

これから本格的な台風到来シーズンを迎えます。水害だけでなく、自然災害から命を守るための大切なポイントを紹介しましょう。

**●ポイント① 地域のつながりを大切に**

自然災害が発生し、一刻を争う事態が起こったとき、お互いに情報を伝達し、助け合える地域の人たちとのつながりは、自分や家族の命を救う大きな力となります。また、そのつながりは、被害の拡大を最小限に抑えることができます。

ところで、皆さんは「自主防災組織」のことをご存知ですか？ 自主防災組織とは「自分たちの地域は自分たちで守る（自助・共助）」という意識のもと、地域住民によって任意に結成された防災組織のことです。

現在、高鍋町には十四の自主防災組織があり、その数は年々増加しています。すべてが自治公民館を母体とした地域から成り立っており、いつ災害が発生しても冷静な対処ができるよう、定期的な訓練や危険箇所の点検、会議などを行っています。防災意識の向上を図っています。



今年から避難ビルとして指定されたT-MAX高鍋店。今回は、4地区がこのビルを使って訓練を行った

**訓練を通じて高める 防災意識と地域のきずな**

五月二十五日、町では「宮崎県防災の日」に合わせて、地震による津波を想定した避難訓練を行いました。

町内二十六地区、千五百三十七人の町民が参加して行われた訓練では、各地区で指定されたそれぞれの場所に避難をしました。

四歳と三歳のお子さんの手を引き、五カ月のお子さんは抱っこして訓練に参加した宮越上地区の日野友絵さんは、「もし夜中に災害が発生したら、小さな子どもを連れてすばやく安全に避難できるか不安になりました。でも、訓練に参加することで、日ごろの備えの大切さを知りました」と話してくれました。

避難訓練に参加することは、防災意識を高めるだけでなく、地域の人たちとのつながりを築く機会にもなりますので、今後の訓練への積極的な参加をお願いします。また、町では防災に関する出前講座も行っていますので、これらを地域の方と一緒に活用しながら、防災意識の向上に努めましょう。

◆お問い合わせ 総務課 危機管理担当 Tel: 26-2022

## ●ポイント② 防災情報の収集

自然災害から身を守るためには、最新の情報を収集することが大変重要となります。町では、情報伝達の迅速化、防災体制の強化を図るため、防災行政無線の拡充を行っています。そして、迅速な情報収集の手段の一つとして、防災情報配信システムを更新し、今年4月からは、より早く防災情報や気象情報など災害に関するさまざまな情報を配信できるようになりました。

防災情報の収集の手段として、町から発信されるもの以外にもテレビやラジオ、インターネットがあります。東日本大震災のような大災害のときには、このような伝達方法では間に合わなかったり、停電の際には、情報を得ることが困難になることも考えられます。そのような場合、町では、サイレンによる防災信号を送り、避難を呼びかけます。

防災信号		避難準備・避難勧告・避難指示について	
区分	サイレン	発令時の状況	町民に求める行動
避難準備	<p>5秒 — 5秒 — 5秒 休止約15秒 休止約15秒</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者など、特に避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階</li> <li>人的被害発生の可能性あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者などは、計画された避難場所への避難行動を開始(支援者は支援行動を開始)</li> <li>上記以外の人は避難準備を開始</li> </ul>
避難勧告	<p>5秒 — 5秒 — 5秒 休止約6秒 休止約6秒</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階</li> <li>人的被害発生の可能性が明らかに高まった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の避難行動ができる人は、計画された避難場所などへの避難行動を開始</li> </ul>
避難指示	<p>約1分 — 約1分 休止約5秒</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前兆現象の発生や地域の特性などから、人的被害発生危険性が非常に高いと判断された段階</li> <li>人的被害が発生した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難勧告などの発令により避難中の人は、確実な避難行動を直ちに完了</li> <li>未避難の人は、直ちに避難行動を！時間的余裕がない場合は生命を守る最低限の行動を！</li> </ul>

## 防災情報配信システム・SOSネットワークの登録を募集しています

町では、パソコンや携帯電話に防災情報や気象情報に関する情報を配信します。また「SOSネットワーク」は防犯情報や捜索情報を配信します。

詳しくは、登録サイト・町ホームページをご覧ください。

パソコン用登録サイト <https://service.sugumail.com/takanabe/member/>  
 携帯電話用登録サイト <https://service.sugumail.com/takanabe/>  
 高鍋町ホームページ <https://www.town.takanabe.miyazaki.jp/>



◀このQRコードで登録画面へアクセスできます。

## ●ポイント③ 避難するときの準備

町が避難指示を発令したときや身の危険を感じたときは、すばやく安全な場所に避難することが大切です。そのためには日ごろから

- ①地域の危険な場所の確認    ②避難経路や避難場所の確認    ③非常持出品や備蓄品の用意

など、いざというときのために準備をしておくことが必要です。

町では、これまで避難場所が書かれた⑦津波避難ビル位置図や高台がひと目でわかる①標高マップの配布、そして今年4月には災害発生時から時系列で対応が確認できる②みんなの防災手帳などを全戸配布し、いざというときの備えが確認できるようにしています。どこにどのように逃げるのか、最低3日分の備蓄品はあるかなど、災害時に慌てず行動できるための準備をしておきましょう。

【取材を終えて】  
 防災についての記事を書こうとしていた矢先に大雨による水害が発生しました。水害の様子を取材に行く際、水に覆われた道を歩くとき、どこまでが道路で、どこからが水路なのか、どこが安全でどこが危険なのか、まったくわからず、すり足で水の中を進みました。これが夜間、何も見えない時間だったら、もっと不安と恐怖に襲われていたと思います。

いつ起こるか予測できないのが自然災害です。日ごろから、防災への備えを心掛けましょう。

### ② みんなの防災手帳



### ⑦ 津波避難ビル位置図



### ① 標高マップ



しまのうち まこと  
島埜内 遵  
教育長

このたび、七月一日付をもって、教育長の職に就任いたしました島埜内遵でございます。

私の故郷であり、歴史と伝統のある「文教の町高鍋」の教育行政に携わることとなり、大きな使命と責任を感じております。微力ではございますが、三十八年間の教職員生活の経験を生かし、「誠実に」「ひたむきに」をモットーに誠心誠意努力してまいります。

私は、教育委員会は、子どもたち、先生、学校、そして地域のため、さらに、町民の皆様の生涯にわたる学びのためにあると考えております。

学校教育におきましては、小澤町長が掲げておられる「子どもがにぎわうまちづくり」を念頭に、町民の皆様が日ごろから「高鍋町の学校はいいね」と言ってくれるような「いい学校づくりに自信と誇りを持つ、いい学校づくりに「いい」を各学校と密接に連携し、目指したい」と考えております。

また、社会教育におきましては、生涯教育の立場から、町民の皆様のことに応え、楽しく、意欲的に取り組むことのできる環境づくりに努めてまいります。

今後とも、町民の皆様の一層のご指導・鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



かやしまみのる  
萱嶋 稔  
前教育長

このたび、六月三十日付をもって、教育長の職を退任いたしました萱嶋稔でございます。

在職中の八年間、町民の皆様には町教育行政に対しまして数々のご支援をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

この間、藩校明倫堂の伝統をはじめ、高鍋町の素晴らしい伝統や文化を生かして「文教の町高鍋」を復興してほしいとの町民の願いを強く感じてまいりました。

今、町教育行政の分野では小澤町長が掲げておられる「住民参画による快適で美しいまちづくり」を受けて、がにぎわうまちづくり」を受けて、学校支援地域本部事業や、コミュニティ・スクールの取り組みによって、

学校・家庭・地域が一体となって「新明倫の教え」を基調とした教育環境づくりがすすめられています。このような環境の中で子どもたちは学校・家庭・地域から大切にされていることを実感し、ふるさとを愛し、自信と誇りをもつ子ども、夢や希望を抱き、地域に貢献する気概をもつ子どもへと成長していくものと信じております。

七月から、高鍋町美術館に館長として勤務しております。町内外の皆様から喜んでもらえる美術館運営に精励する覚悟ですので、今後とも、一層のご指導・鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

今後とも、町民の皆様の一層のご指導・鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

## 乗って残そう！公共交通！



### 公共交通は“安全”で“快適”です♪

クルマは私たちが日常生活を送るうえで便利な乗り物です。しかし、私たちが一生、クルマの運転を続けた場合、交通事故を起こす可能性は意外と高いという結果がでています。

仮に50年間運転したとすると、約3人に1人が交通事故を、また、約380人に1人が死亡事故を起こす可能性があります。

#### ○交通事故の発生率（※50年間運転したと仮定）

①交通事故の件数：年間約63万件（平成25年）

②運転免許保有者数：約8,200万人（平成25年末）

◆交通事故発生率： $[1 - \{1 - (① \div ②)\}^{50}] \times 100 = 32\%$ （＝約3人に1人）

#### ○死亡事故の発生率（※50年間運転したと仮定）

①死亡事故の件数：年間約4,300件（平成25年）

②運転免許保有者数：約8,200万人（平成25年末）

◆死亡事故発生率： $[1 - \{1 - (① \div ②)\}^{50}] \times 100 = 0.26\%$ （＝約380人に1人）

※警察庁「運転免許統計」及び「平成25年中の交通事故の発生状況」をもとに作成

公共交通を利用すると、自分で運転する必要がないため、安全性が高くなります。その上、本を読んだり、景色を楽しみながら“快適”に移動をすることもできます。

いよいよ夏本番！これからレジャーなどを楽しむ際は、電車やバスを利用して、いつもとは違う夏を楽しんでみてはいかがでしょうか？